

分析機器部門講習会シリーズ

最新のゲノム編集技術と Nucleofection

要旨：

遺伝子やタンパク質発現を調節するツールとして、遺伝子ノックダウンや過剰発現系などが開発され、様々な研究に使われてきました。これらの技術の発展形として、特定の遺伝子を直接改変するゲノム編集ツールが新しい遺伝子操作技術として現在注目を浴びています。それと同時に、これらの遺伝子・タンパク質発現を制御するための遺伝子導入・タンパク質導入をいかに行っていくかということも課題の一つとして残っています。本セミナーでは、ゲノム編集技術やその現状と実験成功のための鍵となる多種多様な細胞への導入方法・事例や最適化について、さらにノックアウト・ノックダウン実験のワークフロー、および、RNAi スクリーニングのバリデーション手法としての利用など最新の情報をアップデートいたします。

今後の研究発展のご参考となるような具体的な事例を含めた内容ですので、この機会に是非ご参加ください。

内容項目：

- ・ゲノム編集の活用範囲と現状
- ・ゲノム編集ツールの原理と実験のポイント
- ・GE Dharmacon が提供する新しい CRISPR-Cas9 システム「Edit-R」
- ・CRISPR-Cas9 によるノックアウト実験のワークフローと実施例
- ・ゲノム編集における遺伝子導入装置 Nucleofector の有用性
- ・Nucleofector 最新機種を紹介

キーワード：

ゲノム編集
CRISPR-Cas9 Gene Engineering
Nucleofection

演者：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 ライフサイエンス統括本部 大島英之(理学博士)
ロンザジャパン株式会社 バイオサイエンス事業部 大木本圭(農学博士)

- 日 時 : 平成28年8月30日(火) 16:00~17:30
場 所 : 医系研究棟3号館4階実習室
定 員 : 25名程度
申込期間 : 平成28年8月23日(火)まで
申込方法 : 電子メールで、subjectを「LBS-GE」として、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 伊藤 (内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Webでも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)